

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成25年 8 月 1 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900468		
法人名	大倉商事有限会社		
事業所名	グループホーム愛老	ユニット名	あゆみ
所在地	〒 300-0121 茨城県かすみがうら市宍倉3102		
自己評価作成日	平成 25年8 月 1日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然が豊かなで静かな環境の中に木造平屋建てで、庭も広く門や玄関の施錠もせず、誰でも自由に出入り出来る様になっており、利用者の方々ものんびり生活している。広い庭には沢山の樹木が植えられ、裏庭には藤棚、畑がありホームに居ながら紅葉を楽しんだり、季節感を堪能しながら安心して生活している。
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる生活空間」を理念とし入居者が地域の一員になれるように、安心して生活できる様に職員が共有して努力している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	社長の生まれ育った場所にホームがあり近所に住んでいる職員がいる為、自然な交流が出来ている。昨年近所に住んでいた方が入居され元々地域との交流が多い方だったので今もその交流は続いており、面会も多い。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などで認知症の症状などを伝える機会もある。今以上に現場の経験を生かして介護教室などが行える機会が出来る様にしたいと思う。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	まだまだホームの実情の報告、ホームに生活についての質問等が多く意見交換までには至っていないのが現状。今後は委員の人数を増やしたり、もっとホーム自体が地域に開かれる様に活発な意見交換が出来る会議にしていきたいと思う。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からない事、相談事はその都度電話等できている。入居者の相談事にも丁寧に対応してくれている。運営推進会議でも交流出来ている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、又その弊害についても理解し、玄関の施錠も行わず、自由に生活している。今後も身体拘束をしないケアに努めたい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の研修に参加した時の資料を職員へ報告し、日々のケアの中でもグレーゾーンとなり得る言動をお互いに注意している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現時点で対象者は居ないが、今後の為にも制度の理解、活用が出来る様勉強する機会を設けたいと思う。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時の本人、家族に十分説明し理解していただいている。料金改正・加算等が生じた場合には、その都度文書で報告している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族に対しては、面会時や電話の際に状態報告しながら家族の意向を確認している。利用者についても要望を聞く機会を設けている。外部の窓口を設けたり介護相談員の派遣も受けている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が現場に入ることがあるので、職員の意見を聞ける機会が多い。ケアについても事業所としてでは無く、まず現場の意見を聞いて決める様にしている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況(実績・考え方・思い・努力など)を把握する努力をしている。年齢、経験、性格などを考慮して働き易い職場づくりに努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の能力は把握している。職員同士話し合い、教えあったりしてスキルアップを図っている。今以上にスキルアップできる様に施設外の研修にも参加させてあげたいと思う。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	改めて同業者との交流の場は設けていないが職員個人的に交流したり、意見交換している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境が変わることで不安な気持ちで入居する事を前提に、既往歴、生活歴、性格、日課などの情報収集に努め不安のない生活が送れる様に支援している。コミュニケーションを沢山とり関わる事により信頼関係を築き良い関係作りに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用希望があった時は、家族・本人にホームに見学に来ていただき、家族・本人の困り事や要望を確認した上で、ホームで対応可能な事困難な事を明確にすることで家族・本人が納得して利用できる様にしている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用希望時に話を聞いた上でまず何が必要なのかを話し合い、出来るだけ家族・本人のペースで対応している。可能な範囲で利用者・家族のニーズに応えられるよう対応している。その時、その時のニーズを理解し状況を考えて対応していきたいと思う。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの出来る事、出来ない事したい事を把握したうえで共に行うようにしている。出来るだけ声を掛け話をして、世間話、昔話をする中で皆さんの思いをくみ取り壁のない関係作りに努めている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、家族の関係性を理解した上で、面会の際状態報告をしたり本人の思いを伝達したり、まめに声掛けし家族との関係性を大切にしている。又そうする事でお互いが安心した生活が送れるように支援していきたい。
20	8	○馴染みの人や場所との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係継続にはホームで可能な限り対応している。入居後も行きつけの美容室に通っている方や知人と外出する方お墓参りに行く方もいる。家族以外の面会も自由に出来、又来てもらえる様な雰囲気作りにも気を配っている。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット間の行き来も自由に行えている。職員は利用者同士の関係性を把握し、孤立しない様に又トラブルにならない様に介入して関係性を保てるようにしている。フローアに集まる団欒の時間を活用して更に関係性を深めていきたいと思う。

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (あゆみ)
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用 (契約) が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	開設後何人かの方が在宅に戻ったり、他施設に移ったりされたが、その都度入居中の生活の様子、状態等は書面で報告して退去後も安心した生活が送れるように支援している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の状態や認知症の度を把握した上で可能な限り希望、意向は取り入れている。実現不可能な事についても耳を傾け、本人の思いをくみ取るようにしている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に生活歴、既往歴、家族構成、入居するまでの経過などを詳しく情報収集して、使い馴染んだベットやタンスを持ち込んでいただいて以前と変わらない生活が出来ただけ継続出来る様に支援している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活パターンを把握している。いつもと違う言動、様子があった時は観察、記録に残し、職員同士情報を共有している。特に心身の変化には注意してケアしている。普段出来る事が出来ない時もあるので考慮しながら対応している。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で本人の困りごとを把握して、家族の要望を聞きながら介護計画を立てられるように努めている。今以上に活発に話し合いが出来ると良いと思う。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別な記録はまめに行う様にしている。特に認知症に関しては日々変化することがありその時その時の思いなどを記録に残すようにして後で振り返れる様にしている。申し送りや職員の気づきなどの情報を元に介護計画に反映出来る様に努めている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の要望を聞きながら、職員間でも話し合いより良い方法で対応出来る様にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市の図書館を利用したり、近所の郵便局に出かけたりしている。定期的なボランティア(昔遊び、ハーモニカ演奏)も利用して安心で豊かな生活が送れる様に支援している。ホームの行事で社協の福祉車両を借りる事もある。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に家族と話し合い、かかりつけ医を継続するか否かを決めている。入居後の状態変化により受診が必要になった場合は家族の意向を聞きながら対応している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝バイタルチェックを行い、体調管理には注意して変化を見逃さない様に努めている。心配な事がある時は協力医院に相談して対応してもらい適切な看護や受診が受けられる様に支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は必ず付き添い、情報提供している。入院中も定期的に面会し経過を把握して退院に備えて病院との情報交換に努めている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態変化、入院等の問題が生じた場合には家族と話し合い、本人・家族の意向を確認した上で、協力医と相談してホームで対応出来る事、出来ない事を明確にして現場の職員にもきちんと報告して方向性を決めている。終末期における支援は今後必要性を感じているので、勉強していきたいと思う。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故や急変についてはマニュアルに沿って対応している。夜間帯に不安な事がある時は管理者に相談している。状態変化を見落とさない様に日頃の状態観察を心掛けている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練は行っている。災害時には職員だけでは対応困難と考えている。近隣の方の協力を運営推進会議の際にお願いしている。今後消防署近隣住民と合同での避難訓練を考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (あゆみ)
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴や生まれ育った環境などを把握して、人格を尊重し、本人が分かりやすい言葉、声の大きさなどに注意している。利用者がある場所での職員間の申し送りの声の大きさにも注意している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まだまだ時間で動いてしまう傾向にあるがその中でも入浴の時に服を選んでもらったり、誕生日に欲しいものや食べたい物を決めてもらっている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活である為ホームの都合だったり、時間で行動してしまうことも多いが、その中でも強制するのでは無く、きちんと伝え了解してもらって、その方のペースを大切にしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着る服を一緒に決めたり、外出の時は化粧をしたりする方もいる。ヘアカットする時も本人に確認しながら切っている。入居後も昔から通っている美容室に行く方もいる。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好を把握し食べやすい大きさにカットしたり食べることが楽しみになる様に配慮している。季節感のある食事や畑で採れた新鮮な食材を使ったり工夫している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	平日の夕食は配食サービスを利用しており全体的な栄養バランスは保たれている。食事・水分量はきちんと把握して過不足が無い様になっている。食事のタイミングや自分で食べる為の食器の工夫もしている。毎月体重測定も行っている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは習慣的に行い、清潔が保たれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して状態に合わせて対応している。おむつ使用者がほとんどだが、不快にならない様にまめに確認したり夜間は安眠の妨げにならない様に支援している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならない様にバランスの良い食事や水分にも注意している。それでも便秘してしまう方には排便のサイクルを把握して対応している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の中には順番を気にする方もいるので入浴日は決めている。一人ずつ入浴してもらい出来る事は自分で出来る様に羞恥心には配慮している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休んだりしている。車いすの方には負担にならない様に本人の状態を見ながら、声掛け介助している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬については把握する様に心掛けている。誤薬の無い様、薬には名前・日時を記入して出す時、飲む時の確認をしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴、好きな事、嫌いな事を把握して可能な範囲で対応している。散歩、読書、編み物、毎朝仏壇にご飯をお供えしたり、日課を継続している方もいる。全体の行事としてお花見、クリスマス会など行っている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い日はお散歩したり、日光浴をしたり支援している。ホーム近くにお墓があり行きたい時に行けるように対応している。家族、知人の協力で自宅に外出したり、買い物に出かける方もいる。



自己評価	外部評価	項目	自己評価(あゆみ)
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的にホームで管理している。小銭程度は持っていて自動販売機でジュースを買っている方もいる。買い物の際にお金を払う機会を作ったり、その方の出来る能力を把握している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族の意向もあり、本人が訴える度に対応は出来ないが、訴えの頻度や内容によって、可能な範囲で対応している。手紙やはがきを書き郵便局に出しに行く事もある。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同生活空間は居心地が良い様に、明るさ、温度、匂い、音などに配慮している。季節感が目で感じられるような飾り付けを心がけている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室、フロア、ソファ、カウンターがあり思い思いに過ごしている。その時時の関係性も把握して、一方的なものにならないように職員が上手く介入する事もある。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ち込んでもらっている。状態変化によって本人が動きやすい様に安全面も考慮している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の能力、理解力に応じて、安全、トラブルにならない様に対応している。</p>

V アウトカム項目		(あゆみ)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない